

球磨工 人権だより

1月号 No.7 人権教育推進委員会

明けましておめでとうございます 今年も良い学校づくりに努めましょう

人権だよりは、球磨工全体(生徒・職員)の人権意識の向上を目的として発行しています。皆さんに読んでもらえるように作成していきますので、協力もお願いします。

人権係からの提案です。今年の目標の一つに「想像力の培う」を加えていただけないでしょうか。きっとトラブルが減り、穏やかな生活が送れるようになります。

想像力：自分が発する言葉や行動の先に何が起こるのか想像できる

(例) ※年明け早々から、暴言を掲載することを申し訳なく思います。すみません。

残念ながら校内で聞かれる言葉

「お前、ぶん殴るぞ！」 →

相手の心を傷つける 不登校
相手からの反撃 暴力 ケンカ
周囲の仲間が離れる 孤立 指導

いじめ うつ病 休学
被害届(脅迫罪・傷害罪)
裁判 退学 解決困難

(問)この先に何が起きるが想像してみよう

「怒りにまかせて物を蹴る」「友達の写真を無許可でSNSにアップ」「人種差別的発言をSNSに書き込む」「バスの中でマスク無しで騒ぐ」「他人の物を勝手に借りて壊した」

男女共同参画について 自分の将来を想像しながら考えてみよう。



家事や育児の
主役はだれ？

どんな家庭
を築きたい？

どんな職場
が理想？

【『男女平等』と『男女共同参画』は違うの?】

『男女平等』とは、権利や義務、社会へ参画する機会など、あらゆる場面において性別によって「差別しない、されない」ことで、男女共同参画の前提となるものです。そのうえで、『男女共同参画』は、「男性だから」、「女性だから」といった性別による固定的な役割分担ではなく、一人ひとりの意欲や能力の違いを生かした多様な役割分担によって、共により良い社会を築きましょうというものです。

【男女が対等なパートナーとして尊重し合える社会とは】

熊本県の女性の就業率は、全国的にも比較的高くなっていますが、出産・育児期には落ち込んでいます。その要因としては、育児負担が女性に偏っていることや、長時間労働等を前提とした女性が働きにくい就業環境が挙げられます。仕事と家庭・地域生活の両立のため、就業意欲のある女性が継続して働ける環境の整備や、育児・介護サービスの充実を図るとともに、男性の家庭や地域生活への参画が可能になるよう働き方の見直しを進める必要があります。

【固定的な性別役割分担意識】

令和元(2019)年に実施した「男女共同参画に関する熊本県民意識調査」によると、県民の約 27%が「男は仕事、女は家庭」などと、性別によって役割を固定する考え方に同感しているという現状が見られます。このような性差別意識や固定的な性別役割分担意識は、セクシュアルハラスメント(セクハラ)やドメスティック・バイオレンス(DV)など、女性に対する暴力や人権侵害につながります。

生徒つらい 「繋がる」(3年生 男子)

私はこれまで8年間、野球を続けてきました。その中でたくさんの人との出会いや学びがありました。野球は、ボールがゴールに入ることで得点するのではなく、人と人が繋ぎ、ホームベースを踏むことで1点となります。私は他のスポーツよりも集団の力が求められるのではないかと考えています。また、野球は練習時間が長く、特に冬季の練習はハードで心が折れそうになります。その際に大切になるのが部員間の繋がりで、大きな声を出して励まし合い、雰囲気盛り上げながら苦しさを乗り越えます。一人では決して越えられない壁をみんなで一丸となって乗り越えていきます。そうやってみんなで成長し、絆を深め、1勝の喜びをみんなで分かち合います。これが野球の魅力です。私は野球を通じて「人と人との繋がりから生まれる力の大きさ」を学びました。

3年生の皆さん、春からは就職や進学で新しい生活が始まります。初めのうちは上手くいかないことの方が多いと思いますが、一人で抱え込まず、コミュニケーションをとり、一緒に乗り越えて行きましょう。